

## 平成22年度第3回小平市図書館協議会要録

- 1 日 時 平成22年9月16日(木) 午後2時～4時30分
- 2 会 場 中央図書館会議室
- 3 出席者 図書館協議会委員：11人(1人欠席) 傍聴者：なし  
事務局： 中央図書館長、館長補佐兼庶務係長、館長補佐兼調査係長  
サービス係長、資料係長、上宿図書館長 計6人
- 4 配布資料
  - ・小平市立図書館行事等の報告と今後の予定(資料No.1)
  - ・平成22年度月別貸出状況について(資料No.2)
  - ・広域利用市別貸出状況について(資料No.3)
  - ・平成22年度ブックリサイクル事業について(資料No.4)
- 5 議事
  - (1) 報告事項
    - ① 図書館運営状況について
      - ・図書館行事等の報告と今後の予定について(資料No.1)
      - (これまでの報告)
        - 7月25日 夏休み家族一日図書館員 中央図書館2家族 地区館1家族
        - 7月27日 小学生調べ方教室① 中央図書館
        - 7月31日 子ども文庫連絡協議会講演会 工藤直子氏 中央図書館
        - 8月3日 小学生調べ方教室② 中央図書館
        - 8月17日 小平市図書館友の会講演会「小平市の図書館を使いこなす」  
中央図書館
        - 8月17日 「夜のおはなし会」 仲町図書館
        - 8月18日 「夜のおはなし会」 上宿図書館
        - 8月23日 夏休み図書館ボランティア体験講座 ～26日 中央図書館
        - 8月26日 「夜のおはなし会」 中央図書館
        - 9月4日 汚破損本展示 ～12日 大沼図書館
        - 9月8日 児童文学紀行講座①「絵本で旅するイギリス」 中央図書館
        - 9月12日 小平市図書館友の会講演会「知られざる小泉八雲」  
中央図書館
        - 9月15日 児童文学紀行講座②「絵本で旅するイギリス」 中央図書館

- 9 月 15 日 学校図書館協力員研修（小学校）中央図書館  
（今後の予定）
- 9 月 18 日 汚破損本展示 ～30日 上宿図書館 予定
- 9 月 22 日 「第2回夜のおはなし会」 上宿図書館 予定
- 9 月 30 日 学校図書館協力員研修（中学校） 中央図書館 予定
- 10月 2日 汚破損本展示 ～14日 花小金井図書館 予定
- 10月 14日 スライド講座～作品の舞台を訪ねて～「トムは真夜中の庭で」  
池田正孝氏 中央図書館 予定
- 10月 16日 汚破損本展示 ～27日 喜平図書館 予定
- 10月 23日 ブックリサイクル 各図書館ブックリサイクルコーナー  
予定
- 11月 11日 大人のためのおはなし会 花小金井図書館 予定
- 11月 11日 第4回図書館協議会 予定

・平成22年度月別貸出状況について（資料No.2）

8月末で貸出冊数は711,545点で前年より貸出が伸びている。館別では、仲町図書館が減少し、その分中央図書館が増加している。新規の登録者数は前年より減少しているが、貸出者数は増加している。

・広域利用者別貸出状況について（資料No.3）

全体的に伸びている。西東京市・東久留米市が多少伸びている。広域の中では東村山市の利用が多い。

② 実習生の受入れについて

インターンシップ学生受入れ

首都大学東京2人（8月10日～16日）

創価大学2人（8月10日～23日）

図書館実習生の受入れ

駿河台大学1人（8月10日～23日）

明星大学1人（8月10日～23日）

職場体験の受入れ（9月）

第一中学校・第四中学校・第五中学校・上水中学校

③ 市議会9月定例会について

各会派の代表質問があり、図書館に関するものは1件あった。

「コミュニティビジネス支援の強化について」

一般質問では、図書館に関するものは2件あった。

「再び、地上デジタル放送の電波障害等への市の対応について」

「読書で豊かな子どもたちの育成を」の中で、「学校図書館の状況について」、

「今後の読書環境の充実を図る取組について」、「ブックスタート事業の実施について」

④ ブックリサイクルについて（資料No.4）

市報・図書館のホームページで広報するとともに、後期の図書館カレンダーに日程を載せた。また、今年度から、随時各図書館の入口付近でブックトラック1台程度のブックリサイクルを実施する予定。

⑤ 行政評価について

小平市のホームページに掲載されるとともに、図書館で閲覧、市政資料コーナーで販売している。予算に計上している事業ごとに評価し、図書館については一部、障がい者サービス事業の郵送貸出が減少したため低い評価となっている。

⑥ 小平市行政サービス民間提案制度について

今年度初めての事業。図書館事業では「新聞記事及びリーフレットの収集・整理・保存事業」に応募があった。地域産業育成とビジネスサービス支援の情報を提供するという内容の提案がなされた。今後は審査委員会で審査が行われる。

⑦ 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計プロポーザルについて

提案書を提出した35者を審査委員会で書類審査して、上位6者を選び、9月29日にプレゼンテーションとヒアリングで1者を決定し、10月に契約締結する。その後、住民説明会を開催し、平成23年3月までに基本設計、平成23年度は実施設計、平成24、25年度で解体工事、本体工事、平成26年度にリニューアルオープンする。

<報告に対する質疑・応答>

委員：仲町図書館の建替えに関して、市としての運用する側の意見はどの段階で反映されるのか。長野県の小布施町立図書館（交流センター）は多様な利用が行われていて、仲町図書館にぴったりだと思う。こうあったらとか、使いやすさとかは、いつ、どこで反映されるのか。

事務局：方針に基づいて仲町公民館と相乗効果を活かしたい。具体的な話となると、住民説明会後の10月の終わりから11月にかけてとなる。11月11日の図書館協議会で、ご意見を頂く。

- 委員：住民の側ではなく、運営管理するのは図書館なので、運用については市役所・公民館・図書館の連携プレーをうまくし、合同でどういう風に使ったらいいか早めに考えていいのではないかと。
- 委員：公民館と図書館は交わらないが、ピンチをチャンスにかえるとところに意味がある。本にとって危ないのは火と水。設計時には水場と火と本を離すことを最低でも考えてほしい。新しい図書館を見て、うまく反映できることは反映してほしい。
- 委員：図書館が1階で公民館が上というのを逆にしたほうがよい。グループ活動で、荷物が大きい公民館は下がいい。蔵書はどういう本を中心に置くのか。定年後、第2の人生の人を呼び込むような蔵書を考えてほしい。
- 事務局：方針は想定であって、1階、2階は確定ではない。
- 委員：本を上にとすると重いので建築費が上がる。
- 委員：公民館はグループ活動のため、上に図書館を持っていった方がよいのでは。
- 事務局：今後、住民の方から意見も聞きながら、予算の関係もあるが、どうすれば相乗効果が上がるか研究する。蔵書構成はまだ決めていない。学校図書館支援に関する部分はあるが、地域の図書館なので、いろいろな方にご意見伺いながら選んでいきたい。
- 委員：蔵書が半分になるのでまんべんなくではなく、何か特化した方がよいのではないかと。
- 委員：設計業者はどういう種類の会社で何者の応募があったのか。図書館とかの実績もあるのか。
- 事務局：建築会社、設計会社などで35者の応募があった。図書館等、公共施設の実績がある業者も多く含まれていた。
- 委員：住民の声を聴くのもいいが、図書館としてこういう建物、そのためには空調・水の対応どこまできちんとできるのか、図書館・公民館が上・下逆転しているのか等、市役所側の運営管理の話を早く進めてほしい。
- 委員：図書館の行政評価は毎年上がっているのか。評価をどの程度受け止めているのか。組織では、監査の発言が大きくなって、赤字にならないよう、やりたいことが小さくなることがあるので、そうあってはならないと感じているのでお聞きしたい。
- 事務局：障がい者サービスが、郵送貸出の減少で低くなった。中央図書館では平成20年度に消防設備等の大きな修繕をしたのでBだったが平成21年度はAになった。ほとんどの事業は維持ということで変わらない。ただ維持しながらも貸出数、利用者数等も増加している。財政的には資料費は変わりなく、人件費がかかっている。
- 委員：事業仕分けの報告は。

事務局：まだ終わっていないので今回は報告していない。すでに施設管理、運営事業、資料の収集事業などは終わっている。今までの事業仕分けの中では、委員から改善内容として、費用の面で、指定管理も視野に入れながらも少し効率的な管理運営を考えてほしいという意見があった。今後、図書館サービスの範囲を視野に入れ、どう改善するのか考えて調書を提出する。

委員：図書館に詳しい人でない市民の方もいるので図書館サイドとしてこう思うと、反論すべきところは、是非反論してほしい。

事務局：図書館としての立場をきちんと反映させていきたい。

委員：行政評価は小平市の中での評価なのか。基準はどうなっているのか。

事務局：内部だけで外部評価はない。基準はあり、例えば利用者の人数が多いか少ないか、目標を達成したか、などの指標により一人当たりにかかるかなど有効性・効率性での評価である。

委員：学生の評価は合格か不合格かで、ABCDEということはない。

事務局：もともとの目的は、いつでもこれらの評価を念頭に入れて、改善していく視点で日々の事業を運営することにある。

委員：事業計画が基準となっていると考えてよいのか。

事務局：そのとおりです。

委員：経費がかかる建物と思われぬように、理解を求めるよう頑張してほしい。

委員：小平図書館友の会の交流紙で、OPAC（オーパック）の使い勝手が悪いと掲載されているが、一段階アップした検索ソフトが入らないか。

事務局：更新が平成24年度なので、大掛かりな事は更新の時期に検討し、対応できる事は早急に対応したい。

委員：書誌データでヨミがまちがっているのがある。

委員：出版社と出版年2010年で検索したが、最新が2002年ということがあった。

委員：あいまいな検索ができない。グーグルのようなあいまいな検索に対応できるようにしてほしい。

委員：予算がない場合、多摩六都で共通に改善できないか。

事務局：それぞれの市で導入しているシステムの種類や更新時期が違うので難しい。

委員：行政にはそういうところがある。

委員：多摩六都の担当で協議するあるいは、研修会を行うことも有効ではないか。

委員：大学間の共通のOPAC（オーパック）を実施する際は大変だった。

委員：OPAC（オーパック）で検索してその場所で、本が探せない場合もある。OPACの棚表示の範囲が広すぎる。

事務局：OPAC（オーパック）の場所が違っているかもしれない。返却されたばかりだとアルコール消毒の部屋にある場合もある。

委員：講演会「小平市の図書館を使いこなす」で本の調べ方のテクニックを学んだが、パソコンが手元にあって、使いながらやるとわかりやすい。情報を手に入れるテクニックを学ぶ講習会を年1回行ってもらうと検索の問題もスムーズになるのでは。

委員：検討します。

## (2) 協議事項

なし

## (3) その他

委員：①平成21年度の小平市立図書館事業概要に図書館協議会の報告事項しか載っていない。委員の重要な意見、アンケート調査は載せてほしかった。議事録はネットでみることができるが、閉会后で述べた意見が載らない。

②学校図書館、小平市の図書館の課題図書を購入冊数はどういう方針か。

(資料：平成22年度夏休み読書特集)

委員：①については、研究課題の意見交換は議事録にはまとめづらいということが、最初から委員の意見の中にあつた。議事録には載らないが、そこで出された意見は最終的には年度末に提案としてまとめるということで了解を得ていた。

事務局：②については、毎週一回、児童担当が選書会議で目を通して図書館に入れるかどうかを検討して購入している。課題図書についても同様に選んでいる。学校図書館も同様である。

委員：20冊近く購入しているのは、リクエストのためか。

事務局：小平市の図書館では、夏休みのおすすめ本のリストを作成し、本を別置している。おすすめ本に選んだ本は冊数を増やしている。

委員：課題図書は社団法人全国学校図書館協議会が選定している。学校図書館で課題図書のある程度冊数を揃えなくてはならないという事ではない。

緑陰図書は、夏にはこういう本を読んでもましようを選定して紹介している。

委員：学校の選書の時期は5月頃なので、学校図書館に課題図書がないこともある。課題図書は地域の公共図書館にあるので読んでもましようで紹介している。課題図書の青少年読書感想コンクールは、学校を通しての応募となっている。小平市の小学校は学校単位で出ていないので参加していない。

—閉会后—

(研究課題の検討)

会 長：仲町図書館の建替えについて方針をオープンにして、プロポーザルの応募をしたのかなど館長からもう少し補足説明をお願いしたい。

事務局：業者に実施要領を配布して、公共事業等を請け負っているかなどの業務実績、総括責任者と主任技術者の経歴・代表作品・受賞歴、請け負った時の設計チームの体制、一級建築士など資格をもった人がどの位の人数いるのか等の基本的数値求めた。

また、それらの提案書を受けるために次の4つの課題を出した。

- ①公民館と図書館の複合的使用による相乗効果を発揮し、人と情報の出会いの場所を創出する施設づくり。
- ②立地背景を踏まえた、地域のシンボルとなる施設づくり。
- ③コンパクトでもゆったり感のある施設づくり。
- ④建物の維持・管理が容易な施設づくり。

これらの課題に対して評価基準に基づき書類審査を行い、35者から上位6者を選び、9月29日にプレゼンテーションで1者を選ぶ。その後、設計業者と共に住民説明会を行う。

会 長：方針が出たので、皆さんのお話になったことを提案としたい。

提案は大きく三つに分ける。

- ①はじめに
- ②これからの仲町図書館又は仲町図書館のこれから
- ③おわりに

の章立てを考えている。これからの仲町図書館を考える上で、仲町図書館のあゆみを振り返ってみたい。

事務局：小平市立図書館30年のあゆみを参考にしてほしい

会 長：まず始めに仲町図書館の歩み、二番目に仲町図書館の現状、他の図書館と比較してどんな特色があるか。または個別化するのか。そして三番目としてこれからの仲町図書館への提案をまとめる。その中の1つに、これからの仲町図書館の特色は一体どこにだすのか。これからの情報化社会を見据えてどうしていくのか。その中の2つ目に、ブックディテクションだけでなくICタグの効用や検索できるパソコンがどのくらいできるか。また調べ方講習への配慮といった機械化・情報化への対応を強化する。さらに、小さいネットワーク（オーパック）と大きいネットワーク（図書館8館のネットワーク・小中学校とのネットワーク）の効果や情報収集をどのようにするか、触れていきたい。3つ目に広報として、公民館との合築の効果や図書館・公民館でパ

ソコンが使えるなど広報の一つの手段として入れていく。

皆さんからの意見を伺って文章化したい。

委員：仲町図書館はわりあい高齢者の利用が多いので、居場所としての図書館といったゆっくり本を読める場所という点も書いてもらいたい。また、公民館との相乗効果は、講座等に資料提供して、図書館の貸し出しに反映させる。

委員：公民館との合築の効果として入れることもできる。

委員：方針で言われている学校図書館との拠点という部分も入れてもらいたい。

会長：ネットワークの方で入れていこうと思っている。

委員：自然等の科学関係の資料が学校に揃っていればよいが、もし不足しているのであれば、仲町でも視聴覚資料を揃えてほしい。

委員：教育活動に使う視聴覚資料は学校の予算で必要なものはある程度揃っている。ただし、どんどん新しくなる中、全て揃えるには無理がある。

委員：これに関連して、仲町図書館という公共図書館の予算が増えることになるのか、学校図書館との関係はどうなっているのか。

事務局：学校の調べ学習用や理科教材で使う視聴覚資料をもし購入するとすると、図書館費全体の中から支出することになるので、そこを膨らませると図書資料費が減ることになる。課題となっている学校図書館同士の連携ができれば、同じ資料を回せることになる。

委員：学校間で同じ資料を回せるよう図書館が支援してほしい。

委員：文部科学省が2008年、2011年に理数教育に力を入れているので、そこに予算がつくのではないか。機会があれば、それらを活用できるのではないか。

委員：DVDや本などは第二次資料で自然等は実物を見せるのが一番大切である。

委員：できるだけ多くの人が集まりやすく、使いやすい、この二つを実現するような図書館であってほしい。

委員：仲町は小平の真ん中なので行きやすいと思うので提言のどこかに入れてもらいたい。

会長：行きやすさでは、今は駅に近い花小金井が便利となっている。

今までのところで、章立てはこのような感じでよろしいか。

—全委員、了承する—

委員：1階・2階に分かれた場合、貸出カウンターも分かれるのか。

事務局：はっきり決っていないが、2階はレファレンスカウンターと自動貸出機。

1階が貸出・返却カウンターになるのではないか。

委員：三鷹の図書館は利用者に対し、自動貸出機の教育をして98%無人化と新聞に載っていた。

委員：花小金井図書館の照明が本棚の真上にあり暗い所がある。照明も考えて欲し



い。

委員：スプリンクラーはどうなっているのですか。

事務局：図書館はつけていない。

委員：今は、子供のスペースが確保されていてその場で読んであげる事ができる。スペースが一緒なら音がもれにくいとか考えてほしい。地理的な事を考えると、中学校・高校があるのでティーンエンジャーをターゲットにしほれないか。

会長：仲町図書館のこれからの中で、蔵書構成、読み聞かせ、公民館の部屋に貸し出ししないで持っていけるのか等、その辺の機械的・技術的・物理的な問題が課題としてある。情報収集や相互利用の部分で書かせてもらいたい。

委員：これまでにかなりのいろいろな意見が出ている。これらを資料として審査会のプレゼンに臨むことはできるのか。

事務局：この協議会で出された意見はいつも要録としてまとめ、図書館として尊重している。その意識を持ちながら臨みたい。

委員：住民説明会は、いつですか。

事務局：10月下旬から11月頃に土曜・日曜・夜間で3回程度行う予定である。市報やホームページ、自治会への案内等で広報する。

委員：その時は具体的な説明か。

事務局：説明する時に白紙の状態では難しいので、ある程度のあらあらの案を示すことになる。それを基に、意見をいただきながら詰めていきたい。

会長：説明会が終わって最終的に基本設計が決まるのか。

事務局：3月中旬までの契約の予定となっている。

会長：3月に基本設計がまとまるということなので、1月の回までにまとめておきたい。